

鹿児島市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和2年度実績に係る効果検証結果 総括表

検証会議の意見

A：引き続き、現状の取組を推進すべきである
 B：全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある
 C：取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである

検証会議による検証結果

評価	4つの基本目標に対する評価				施策に対する評価								施策 (参考) R元年度分	
	1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての 希望を 「かなえる」	3 まちの 魅力を 「みがく」	4 ひと・ま ちを多彩に 「つなぐ」	積極戦略		適応戦略	重点戦略			合 計			
					1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての 希望を 「かなえる」	3 まちの 魅力を 「みがく」	4 ひと・ま ちを多彩に 「つなぐ」	(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造		(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進		(4)連携中枢 都市圏の 形成
A	0	1	0	1	7	8	3	6	0	1	2	1	28	25
B	1	0	1	0	2	1	4	1	1	0	0	0	9	11
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	1	1	1	1	9	9	7	7	1	1	2	1	37	36

評価(数値目標・KPI)

a：十分に達成されている
 b：概ね達成されている
 c：あまり達成されていない

数値目標・KPIの評価

評価	数値目標				KPI								KPI (参考) R元年度分	
	1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての 希望を 「かなえる」	3 まちの 魅力を 「みがく」	4 ひと・ま ちを多彩に 「つなぐ」	積極戦略		適応戦略	重点戦略			合 計			
					1 しごとで 活力を 「つくる」	2 結婚・出産・ 子育ての 希望を 「かなえる」	3 まちの 魅力を 「みがく」	4 ひと・ま ちを多彩に 「つなぐ」	(1)世界基準 の観光地域 づくり	(2)健“高” 医“良” 都市の創造		(3)大学との 連携強化と ふるさと 教育の推進		(4)連携中枢 都市圏の 形成
a	0	1	0	1	5	4	3	4	0	1	1	1	19	20
b	0	0	0	0	2	3	0	1	0	0	1	0	7	4
c	1	0	1	0	2	2	4	2	1	0	0	0	11	12
合 計	1	1	1	1	9	9	7	7	1	1	2	1	37	36

○ 数値目標・KPIの評価は、内部基準に基づく絶対評価である。

積極戦略1 しごとで活力を「つくる」

<p><概要></p> <p>(1) 評価 (KPI)</p> <p>a : 十分に達成されている</p> <p>b : 概ね達成されている</p> <p>c : あまり達成されていない</p>	<p>(2) 検証会議の意見</p> <p>A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである</p> <p>B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある</p> <p>C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見														
			しごとで活力を「つくる」の進捗等(令和2年度まで)	今後の方向性(考え方)															
しごとで活力を「つくる」	<p>(1)地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>(2)地域産業の競争力強化(分野別取組)</p> <p>(3)若い世代をはじめとする雇用機会の拡大</p>	<p>事業所数</p> <p>従業者数</p> <p>※ともに28年経済センサスより</p>	<p>数値目標「事業所数」及び「従業者数」については、ともに基準値を下回っており、あまり達成されていない。これは、全国・県においても同様の状況にあり、市内で大半を占める小規模の事業者の減少等が影響していると考えている。</p> <p>地域産業の競争力強化に向けたものづくり産業、農林水産業の活性化は、十分に達成されているとともに、人材の確保や商業・サービス業の活性化は概ね達成されているが、一方で、新事業・新産業創出の支援や経営改善の支援にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p> <p>また、創業・第二創業への支援や企業立地の推進、女性や高齢者等の活躍促進などに取り組むことで、若い世代をはじめとする雇用機会の拡大は十分に達成されている。</p>		<p>新事業・新産業創出の支援について、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進めていくほか、経営改善の支援については、より円滑な資金調達を支援するため、創業支援資金等の保証料補助拡大の対象となるセミナー等を追加するなど、さらなる推進を図ることで、引き続き、安定した雇用や地域の活力を生み出すまちの創造を目指し、しごとで活力を「つくる」取組を展開する。</p>	<p>数値目標については、市内で大半を占める小規模の事業者の減少等が影響していると考えられ、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、地域産業に与える新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、経済団体や地域金融機関等と情報共有を図りながら、事業者等のニーズに応じた施策の充実を図るべきである。</p> <p>また、数値目標については、第2期総合戦略において、全国の傾向や社会情勢を考慮しながら、妥当性のある目標値を検討すべきである。</p>													
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>28,317</td> <td>30,100</td> <td>事業所</td> <td>27,279 *</td> <td>-58.2%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>278,415</td> <td>283,500</td> <td>人</td> <td>274,569 *</td> <td>-75.6%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)			単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26)	28,317	30,100	事業所	27,279 *	-58.2%	c	(H26)	278,415
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)														
(H26)	28,317	30,100	事業所	27,279 *	-58.2%	c													
(H26)	278,415	283,500	人	274,569 *	-75.6%														

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)	
1	しごとで活力を「つくる」	<p>(1) 地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>①新事業・新産業創出の支援</p>	<p>新たなビジネス展開に取り組む事業者数</p> <p>本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率</p>	<p>KPIの進捗については、「本市の補助金を活用した新たなビジネス展開の事業化率」が目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、開発段階のものが未だ事業化されていないためであると考えている。</p> <p>R2年度の取組状況としては、ヘルスケアなどの分野における事業化支援(事業化後のサポートを含む)や、クリエイティブ産業の育成支援に取り組んだほか、オープンデータについては、本市ホームページにおいて公開している公共施設の位置情報等のデータ数を拡充するとともに、市民のひろば等での周知広報に努めた。</p>	<p>専門家による事業化支援や、産学連携のためのマッチング支援、補助事業に対する継続的なサポートのほか、クリエイティブ産業の育成支援や事業化された取組のPR等を引き続き進めていく。</p> <p>オープンデータについては、利用者の意見・要望を踏まえ、たううえで、公開するデータの充実を図るとともに、周知広報に努める。</p>	<p>KPIについては、事業化率の進捗が伸び悩んでおり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、事業化に至っていない理由や今後の見通しなどを把握した上で、事業化までの進捗状況に応じた支援方法を検討するほか、引き続き事業者に対するサポートに努めるべきである。</p>
2	しごとで活力を「つくる」	<p>(1) 地域産業の競争力強化(業種横断的取組)</p> <p>②経営改善の支援</p>	<p>産業振興、創業支援、新事業展開支援資金の利用件数</p>	<p>KPIの進捗については、基準値を下回り、あまり達成されていない。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者向けに創設された県新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金(3年間無利子)に利用が集中し、産業振興資金等の利用が減少したものと考えている。</p> <p>R2年度の取組としては、創業支援資金において、従来の一般保証に加え創業関連保証(国の特別保証)を利用可能とした。また、金融機関個別訪問や広報リーフレットの配布等により、本市の融資制度による経営改善の支援について周知広報を図った。</p>	<p>R3年度は、より円滑な資金調達を支援するため、創業支援資金等の保証料補助拡大の対象となるセミナー等を追加する。</p> <p>今後引き続き、事業者が利用しやすい制度の設計や他課及び関係団体と連携して周知広報に努めるとともに、事業承継セミナーを開催するなど、事業者等に対する支援に取り組む。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者向けに創設された県新型コロナウイルス関連緊急経営対策資金に利用が集中したこともあり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、民間金融機関等からの融資を受けにくい中小企業者等がより利用しやすい制度への改善や制度の周知に努めるとともに、県や経済団体、地域金融機関等との連携を図りながら、地域全体での対応を図るべきである。</p>

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
3	1 しごとで 活力を「つくる」	(1) 地域産業の競争力強化(業種横断的取組) ③ 人材の確保 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>42</td> <td>人 (6年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	—	42	人 (6年間)	首都圏等からのクリエイティブ人材の移住者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>31</td> <td>73.8%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	31	73.8%	b	KPIの進捗については、概ね達成されている。 H28年度7人、H29年度4人、H30年度6人、R元年度3人で、単年度あたりの目標値(7人)を下回っていたが、R2年度は11名と目標値を上回った。これは、新型コロナウイルス感染症の流行により地方移住の機運が高まったことによる影響とも考えられる。 R2年度の取組状況としては、専用WEBサイトを作成し移住クリエイターのインタビュー記事を掲載する等、戦略的な情報発信を行うとともに、UIターンイベントやお試し移住の実施、移住補助金の交付などにおいて、本市独自の取組を行い、移住推進室とも連携を図りながら、クリエイティブ人材の誘致に取り組んだ。 また、東京23区の在住者または23区への通勤者が、市内に移住し、中小企業等に就業または起業した場合に、移住支援金を支給したほか、産学官連携による会議を開催し、若者の地元定着等に向けた取組の推進を図った。	引き続き、移住推進室と連携し、戦略的な情報発信を行い、クリエイティブ人材の誘致に取り組む。 また、東京23区の在住者または23区への通勤者が、市内に移住し、中小企業等に就業・起業またはテレワークを行っている場合に、移住支援金を支給するほか、中学生をはじめとする若い世代に地元企業等の魅力発信や情報提供を行うイベントを関係機関と連携して開催する。	KPIについては、人材の確保に向けて、概ね達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、クリエイティブ人材が活動しやすい環境整備を進めるとともに、ターゲットに情報が届くよう、引き続き、情報発信の工夫・改善を図るほか、移住に至らなかった理由についても分析を行った上で、より効果的な施策となるよう努めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
—	42	人 (6年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
31	73.8%	b																	
4	1 しごとで 活力を「つくる」	(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組) ① 商業・サービス業の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>27</td> <td>人 (6年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	—	27	人 (6年間)	空き店舗等の再生などによる新規就業者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19</td> <td>70.4%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	19	70.4%	b	KPIの進捗については、概ね達成されている。 街なかりノベーション実践セミナーの受講者や創業者テナントマッチング事業の活用者の開業により空き店舗の再生がなされ、19人の新規就業となっている。 R2年度の取組状況としては、商業・サービス業のさらなる活性化を図るため、商店街等に対して各種支援を行ったほか、空き店舗等の再生を担う人材を育成するため、リノベーション実践セミナーを開催した。そのほか、H30年度から開始している創業者と空き店舗のマッチングにより空き店舗の解消を図る創業者テナントマッチング事業の活用の促進を図った。	引き続き、商店街等への各種支援や街なかりノベーション推進事業、創業者テナントマッチング事業により、商業・サービス業の活性化や空き店舗等の再生を担う人材の育成、空き店舗の解消を図る。	KPIについては、商業・サービス業の活性化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、商店街等の活性化に向け、助成制度等の周知に努めるとともに、経済団体や地域金融機関等と連携を進めるほか、空き店舗を新規創業やまちづくりにより有効に生かせるよう、取組の工夫・改善を図りながら、空家になりそうな店舗へのサポートも検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
—	27	人 (6年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
19	70.4%	b																	
5	1 しごとで 活力を「つくる」	(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組) ② ものづくり産業の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>11</td> <td>件 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	11	件 (7年間)	本市の事業活用による商談成約件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>285</td> <td>79.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	285	79.8%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により、渡航・移動制限、展示会等の開催数の減少などの影響があったが、引き続き出展経費等への助成や企業の海外販路拡大への取組段階に応じた支援を関係機関と連携して行った。 また、各種アドバイザーを派遣し、経営力や販路拡大などに関する指導等を行った。	新たに、国内におけるオンライン展示会の出展経費についても補助対象とし、国内外での展示会出展を検討している企業の後押しを行う。	KPIについては、ものづくり産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、EC(電子商取引)市場規模の拡大を踏まえ、専門アドバイザー等の活用も検討するとともに、同感染症収束後も見据え、展示会・商談会の新たな開催方法への対応を図っていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	11	件 (7年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
285	79.8%	a																	
6	1 しごとで 活力を「つくる」	(2) 地域産業の競争力強化(分野別取組) ③ 農林水産業の活性化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>5</td> <td>人 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	5	人 (7年間)	本市支援による新規就農者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>53</td> <td>129.3%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	53	129.3%	a	KPIの進捗については、目標値を上回り、十分に達成されている。 (R2年度末の改訂により、目標値を41人から63人へ上方修正) R2年度の取組状況としては、昨年度に引き続き新商品開発等への支援などを通じ、新たに6つの加工品が商品化されたほか、就農相談や技術習得に対する支援、農業次世代人材投資資金の交付などにより、青年就農者の経営安定に努めた。 また、コロナ禍で市場出荷が厳しい中、農協と連携して、共同販売への加入や直売所への販売強化に努め、新規就農者の販路開拓が図られた。	加工や販売などの専門家の助言や、県内外の事例を紹介するなど、6次産業化に取り組む意欲がある生産者を支援し、6次産業化を促進する。 また、本市の農林水産物等を生産者団体等と連携してPRすることで、需要を喚起し、販路の拡大を行う。 新規就農者の定着に向け、引き続き関係機関と連携し、経営や農業技術の助言・指導を行う。 スマート農業については、先進的な活用事例を情報提供するほか、国などの事業の活用により生産環境の整備に努める。	KPIについては、農林水産業の活性化に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、スマート農業の導入を進め、ICTを利用した効果的・効率的な農業に向けた生産環境の整備に取り組むほか、農地を確保したい新規就農希望者と高齢化や後継者不在などで営農が困難になった方とのマッチングにも意を用いていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	5	人 (7年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
53	129.3%	a																	

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
7	1 しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大 ①創業・第二創業への支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>36</td> <td>者 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	36	者 (7年間)	本市支援による新規創業者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>208</td> <td>82.5%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	208	82.5%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度を取組状況は、創業スキル関連講座の開催等を通じて新規創業への支援を着実に推進するとともに、クリエイティブ産業創出拠点施設「mark MEIZAN」の企画運営を行った。 また、創業支援者に対し、追跡調査を行い、フォロー体制の構築に向けた現状把握を行った。	「ソーホーかごしまやmark MEIZANにおいて、セミナー等を実施するとともに、創業後における追跡調査や支援体制の構築、大学と連携した事業の実施などにより、新規創業者等に対する支援に努める。	KPIについては、創業・第二創業への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、インキュベーション施設利用者の動向やニーズを把握するとともに、未創業者も含めて創業支援者への追跡調査を行った上で、創業前・創業後の支援策の充実を図るほか、若い世代や外部専門家の積極的な参画について検討いただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	36	者 (7年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
208	82.5%	a																	
8	1 しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大 ②企業立地の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>7</td> <td>件 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	7	件 (7年間)	企業立地件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>42</td> <td>85.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	42	85.7%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度を取組状況としては、首都圏における展示会へのブース出展や企業立地促進補助制度のPR、市外企業に対するオンライン面談の活用、市内企業に対する訪問など、企業立地を推進する活動を積極的に行った。 また、連携中枢都市圏構成市で連携したPRや、立地企業の雇用確保を支援するためのソフトウェア業職場見学会などを実施した。	引き続き、積極的な企業訪問を行い、補助制度や都市の魅力など本市の強みをPRし、企業立地のさらなる推進に取り組むとともに、フォロー活動における情報交換等を通じて立地企業の状況把握や雇用確保への支援を行う。また、連携中枢都市圏の構成市及び県との連携を図りながら企業立地を促進する。	KPIについては、企業立地の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、連携中枢都市圏の各自自治体との連携強化を図るとともに、産業クラスターやサプライチェーンを形成する業態の企業や、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、テレワークを前提とした企業の誘致について検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	7	件 (7年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
42	85.7%	a																	
9	1 しごとで 活力を「つくる」	(3)若い世代をはじめとする雇用機 会の拡大 ③若者、女性、高齢者等の活躍促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>426</td> <td>人 (7年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	426	人 (7年間)	本市の助成金を活用して雇用される 人数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,331</td> <td>80.9%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	2,331	80.9%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度を取組状況としては、経営者・管理職向けのセミナーを実施するなど、女性活躍の意義についての理解を深め、その取組を促進した。 また、シルバー人材センターの会員数が過去最高を更新するなど、高齢者の就労機会の拡大が図られた。	引き続き、助成金の周知広報に努めるとともに、労働局等の関係機関とも連携を図りながら、若い世代をはじめ、女性や高齢者等の就労促進に努める。 また、経営者・管理職向けのセミナーや女性管理職を育成、応援するセミナーを継続的に実施し、女性の活躍促進に取り組むとともに、関係部署とも連携を図りながら、女性が働きやすい環境整備に努める。	KPIについては、若者、女性、高齢者等の活躍促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、就労者やセミナー受講者に対するフォローアップ調査を行った上で、支援策の充実を図るとともに、働きやすい環境づくりに向けた取組も進めていただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26)	426	人 (7年間)																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
2,331	80.9%	a																	

積極戦略2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」

<p><概要></p> <p>(1) 評価 (KPI)</p> <p>a:十分に達成されている b:概ね達成されている c:あまり達成されていない</p>	<p>(2) 検証会議の意見</p> <p>A:引き続き、現状の取組を推進すべきである B:全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある C:取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
			妊娠・出産・子育ての希望を「かなえる」進捗等(令和2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	<p>(1)若い世代の経済的安定 (2)結婚の希望の実現 (3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 (4)子育て支援の充実 (5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> <tr> <td>(H25) 5,647</td> <td>37,000</td> <td>人 (7年間)</td> <td>26,390 *</td> <td>71.3%</td> <td>a</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H25) 5,647	37,000	人 (7年間)	26,390 *	71.3%	a	<p>出生数</p> <p>※令和元年人口動態統計より</p>	<p>数値目標「出生数」については、ほぼ目標値に達している。</p> <p>若い世代の経済的安定に向けた貧困の世代間連鎖の解消にかかる取組は概ね達成されているが、一方で若者の就業支援にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p> <p>また、結婚の希望の実現に向けた支援、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援やワーク・ライフ・バランスの普及促進に向けた取組は十分に達成されているほか、子育て支援の充実を図るための放課後における児童の健全育成や子育て世帯への経済的支援は概ね達成されているが、一方で子育て支援施設の整備・充実にかかるKPIについては、あまり達成されていない。</p>	<p>若者の就業支援については、国のトライアル雇用助成金の活用状況や、社会経済情勢の変化等を踏まえながら市のトライアル雇用支援金の再開を検討するほか、待機児童の解消については、早期の解消に向けて、受け皿や潜在保育士の確保等の各種施策に取り組むなど、引き続き、個人の選択を尊重しつつ、若い世代が結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」ことができるよう各面から支援する取組を展開する。</p>	<p>数値目標については、結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」という基本目標に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、特に「若者の就業支援」や「子育て支援施設の整備・充実」において、子育て支援の充実を図る取組を着実に進めながら、早期改善に向けた取組の検討も行っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)													
(H25) 5,647	37,000	人 (7年間)	26,390 *	71.3%	a													

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
10	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	<p>(1)若い世代の経済的安定</p> <p>①若者の就業支援</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> <tr> <td>(H26) 134</td> <td>888</td> <td>人 (7年間)</td> <td>482</td> <td>54.3%</td> <td>c</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26) 134	888	人 (7年間)	482	54.3%	c	<p>トライアル雇用支援金を活用して雇用される若者等の人数</p>	<p>KPIの進捗については、目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、R元年度の国のトライアル雇用助成金の対象労働者の要件変更により、国の助成金の決定件数が減少しているためと考えられる。</p> <p>R2年度の取組状況としては、トライアル雇用終了後も継続雇用している事業主に対して支援金の支給を行ったほか、高校生を対象とした就職セミナー、学生等を対象とした起業セミナーの開催など、若者の就業支援、起業支援に着実に取り組んでいる。</p>	<p>R3年度は、新型コロナウイルス感染症による厳しい財政状況を鑑み、一部セミナーを休止するが、引き続き、若者の就業支援、起業支援に取り組む。トライアル雇用支援金については、R3年度はR2年度中に国の助成金の支給決定を受けたものを除き休止となっていることから、今後の事業再開については、国のトライアル雇用助成金の活用状況や、社会経済情勢の変化等を踏まえながら検討してまいりたい。</p> <p>また、若者の職場定着については、関係機関と連携を図りながら状況把握に努め、職場定着に関する国の助成金の広報など、連携した取組を進めるとともに、高校生や新就職者を対象に開催するセミナー等により、勤労観・職業観の醸成を図る。</p>	<p>KPIについては、国の助成金の決定件数が減少していることもあり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、トライアル雇用から常用雇用への移行状況を分析するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用環境の変化を踏まえた就労支援の在り方を検討するほか、セミナー等を通じた若い世代の仕事理解・自己理解の推進に努めべきである。</p> <p>また、KPIについては、第2期総合戦略において、施策全体の効果を捉える指標を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)														
(H26) 134	888	人 (7年間)	482	54.3%	c														
11	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	<p>(1)若い世代の経済的安定</p> <p>②貧困の世代間連鎖の解消</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> <tr> <td>—</td> <td>488</td> <td>人 (7年間)</td> <td>358</td> <td>73.4%</td> <td>b</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	—	488	人 (7年間)	358	73.4%	b	<p>就労支援した若者等の就職者数</p>	<p>KPIの進捗については、概ね達成されている。</p> <p>「生活・就労支援センターかごしま」内の生活自立支援センターとハローワーク窓口の連携により、若者等への就労支援をワストップで行ったほか、生活困窮世帯・ひとり親家庭等の小学5・6年生及び中学生への学習支援(学習会)を、大学生や教員OB等と協力して実施した。母子家庭等自立支援事業では、医療事務講座に加え新たに調剤薬局事務講座を実施したほか、引き続きひとり親家庭等総合相談会で就業相談等を行い、就業支援の充実を図った。</p> <p>また、R2年度には、子どもの生活に関するアンケート調査の結果等を踏まえ、子ども・子育て支援事業計画のリーディングプロジェクトとして「鹿児島市子どもの未来応援プラン(子どもの貧困対策推進計画)」を策定し、全庁的に子どもの貧困対策の推進を図る体制を構築した。</p>	<p>「生活・就労支援センターかごしま」によるワストップでの支援体制を充実するとともに、引き続き、関連施策の広報・周知を進め、関係機関と連携し、取組の推進を図っていく。</p> <p>母子家庭等自立支援事業で実施する講習会について、ひとり親家庭や企業においてニーズの高い資格などを把握し、講座内容の検討を行う。</p> <p>また、子どもの未来応援プランに基づいた、子どもの貧困対策の推進を図っていく。</p>	<p>KPIについては、貧困の世代間連鎖の解消に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、支援を行った生活困窮者等の就労状況について追跡調査を行うとともに、トライアル雇用支援金制度など関係課・機関の支援との連携を図るほか、こども食堂とのさらなる協働も検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)														
—	488	人 (7年間)	358	73.4%	b														

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
12	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ①次世代を担う若者への意識啓発 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>2,400</td> <td>人 (6年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	—	2,400	人 (6年間)	ライフデザインセミナー参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,924</td> <td>121.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	2,924	121.8%	a	KPIの進捗については、目標値を上回り、十分に達成されている。 (R2年度末の改訂により、目標値を2,400人から4,100人へ上方修正) R2年度の取組状況としては、ライフデザインセミナー事業及び挙式プロデュース事業を、大学・高校・企業等と連携して実施した。また、両事業の前後に、アンケートを実施し、参加者の意識変化の把握を行った。	R3年度から新たに高校生を対象としたライフデザインセミナーを実施するなど、幅広い若年層への意識啓発に努める工夫をし、結婚、妊娠、出産、子育てに対する気運の醸成に取り組んでいく。	KPIについては、次世代を担う若者への意識啓発に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、事業実施前後のアンケート結果を踏まえてセミナー等の内容の改善を図るほか、希望する人が気軽に参加できるように、対象者の拡充を検討していただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
—	2,400	人 (6年間)																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
2,924	121.8%	a																							
13	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(2)結婚の希望の実現 ②結婚への支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>90</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	—	90	%	婚活事業への参加者の満足度 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>86.1</td> <td>95.7%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	86.1	95.7%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度の取組状況としては、出会い・ふれあいレクリエーション交流会や、出会いサポートイベント(謎解き婚活イベント)に加え、新たに趣味で出会うイベント(アウトドア・料理、旅行)を開催し、多くのカップルが成立したほか、結婚相談所の運営を通じて出会いの場を提供するとともに、婚活応援セミナーや、新たにマリｰサポートカフェ(少人数制婚活イベント)を実施した。 また、新婚世帯等向けに、市営住宅の優先入居を実施した。	R3年度は、新型コロナウイルス感染症による厳しい財政状況を鑑み、一部イベントを休止するが、今後については、同感染症等の状況を踏まえながら、より効果的な方法等を含め、各種イベントの開催など、出会いの場の提供に積極的に取り組む。結婚相談所については、登録者数や婚約成立数が減少していることから、さらなる周知広報やサービス向上に努めるなど、利用促進を図り、結婚を希望する方の婚活をサポートする。 また、今後も引き続き、新婚世帯等の市営住宅への入居支援に取り組む。	KPIについては、結婚への支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、結婚相談所によるあつ旋や婚活イベントの参加者数が減少していることから、同感染症収束後も見据え、オンラインの活用等により利用・参加しやすい実施方法を検討していただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
—	90	%																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
86.1	95.7%	a																							
14	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(3)妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27) 84.1</td> <td>85</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H27) 84.1	85	%	妊娠出産について満足している者の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>88.5</td> <td>104.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	88.5	104.1%	a	KPIの進捗については、目標値を上回り、十分に達成されている。 子育て世代包括支援センターの体制整備後も、母子保健支援員や発達支援専門員の配置を行うなど、センターとしての機能の強化を図ってきている。 また、妊産婦のメンタル面のケアとして、R2年度に新たに開始した産婦支援小児科連携事業など、母子保健に関する他の事業と併せて、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に取り組んでいる。	子育て世代包括支援センターの機能をさらに発揮し、関係機関と連携しながら、産後早い時期での産婦健康診査やその後の産婦支援小児科連携事業を実施するなどして、地域での切れ目のない支援の充実に取り組む。 このほか妊娠期からのハイリスク家庭の把握及び支援充実、訪問指導時の問診票等使用によるハイリスク家庭の把握に努める。また、不妊専門相談センターによるさらなる相談支援の充実を図る。	KPIについては、妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、妊娠出産について「満足していない」と回答した理由を分析した上で、関係機関と連携しながら、引き続き、切れ目のない支援の拡充を推進していただきたい。 また、KPIについては、第2期総合戦略において、客観指標の設定を検討していただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H27) 84.1	85	%																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
88.5	104.1%	a																							
15	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ①子育て支援施設の整備・充実 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 47</td> <td>0</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>(R元)</td> <td>96.9</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 47	0	人	(R元)	96.9	%	保育所等の待機児童数 保育所等への入所率 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>216</td> <td>-359.6%</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>96.7</td> <td>96.7%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	216	-359.6%	c	96.7	96.7%		KPIについては、保育需要の高まりや保育士不足等から、保育所等の待機児童数がR元年度209人より微増し、保育所等への入所率は元年度96.9%より減少しており、あまり達成されていない。 (R元年度末改訂により、KPI「保育所等への入所率」を追加) R2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、親子つどいの広場などの利用者数は前年の約6割に大幅に減少したが、前年度を上回る8,761件の各種相談に対応したほか、元年度に策定した第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に基づき、認可保育所等において定員200人分の受け皿確保を行った。 また、保育士・保育所支援センターにおいては、マッチング数42件に対して採用決定者35人、うち保育所等に勤務していない人は23人で、潜在保育士の掘り起こしに一定の成果を挙げている。 さらに、保育士等の業務負担軽減を図るためのICT導入補助や、保育士等のための宿舎借上げ経費の助成を行ったほか、職員の経験年数や技能等を踏まえ処遇改善に取り組んだ。	子育て支援施設の整備・充実については、第二期鹿児島市子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童を解消するため、保育所及び幼保連携型認定こども園の定員増等による受け皿確保を行う。 また、保育士・保育所支援センターによる潜在保育士の確保に加え、保育士確保に係る意見交換会や保育士を目指す学生向けのイベントを行うなど、早期の待機児童解消に向けて積極的に取組を進めていくこととし、保育士等の処遇改善についても、国の通知等に基づき取り組む。 地域の子育て支援機能の充実については、引き続き、親子つどいの広場等におけるきめ細やかな支援体制を維持するとともに、子育て拠点支援施設職員のスキルアップや施設間の連携を図っていく。	KPIについては、保育需要の高まりや保育士不足等から、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、保育需要等の状況を踏まえながら、取組の推進を図るべきである。 なお、施策の推進にあたっては、受け皿となる保育所の拡充を図るとともに、保育士の確保に向けて、潜在保育士の掘り起こしや保育士を目指す学生に対する支援のほか、保育士の負担軽減、処遇改善等を一層推進していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H26) 47	0	人																							
(R元)	96.9	%																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
216	-359.6%	c																							
96.7	96.7%																								

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
16	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ②放課後における児童の健全育成 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>414</td> <td>0 人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H27)	414	0 人	児童クラブの待機児童数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>106</td> <td>74.4%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	106	74.4%	b	KPIの進捗については、概ね達成されている。 (R元年度末改訂により、基準値を171人(H26)から414人(H27)へ変更) R2年度までの取組状況としては、待機児童解消のため、計画的にクラブの整備を進めたほか、あわせて、そこで働く支援員等の確保支援及び処遇改善なども図った。 新・郷中教育推進事業では、年次計画に基づき、市内全78校で放課後子ども教室を開設した。	児童クラブについては、引き続き、就学児童数や待機児童数の見込み等から、今後の利用見込みを算出し、余裕教室の活用や専用施設の設置、民間事業者による設置など、計画的なクラブの整備に取り組む。 また、支援員等の確保支援や処遇改善に努めるほか、支援員資格取得の促進や児童育成に必要な研修の実施にも積極的に取り組む。 新・郷中教育推進事業では、各小学校区に放課後子ども教室を開設できている。今後も、充実した学習や体験・交流活動等に取り組む。	KPIについては、放課後における児童の健全育成に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、待機児童数に応じた施設の拡充を図るとともに、支援員の確保や待遇改善、支援スキルの向上に努めていただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H27)	414	0 人																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
106	74.4%	b																							
17	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(4)子育て支援の充実 ③子育て世帯への経済的支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H25)</td> <td>19</td> <td>20.4 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H25)	19	20.4 %	出生数に占める第3子以降の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.7</td> <td>50.0%</td> <td>b</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	19.7	50.0%	b	KPIの進捗については、概ね達成されている。 引き続き中学3年生までのこどもの保護者に対し、医療費の一部を助成した。 R2年度の取組状況としては、多子世帯への経済的負担軽減を図るとともに、保育所等を利用している3～5歳及び住民税非課税世帯の0～2歳の保育料の無償化を継続した。 就学・通学の援助、奨学資金の貸付により、保護者の経済的負担軽減を実施した。そのほか、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行った。	今後も引き続き、子育て世帯の経済的負担軽減に努めるとともに、子育て世帯向けの市営住宅の整備を行う。 また、こども医療費助成制度は、県の補助制度であり、R3年4月から、市町村民税非課税世帯は18歳まで対象を拡充し、現物給付方式(窓口負担ゼロ)としたところである。なお、中学3年生までは、所得に関わらず現物給付方式を導入することを引き続き要望していく。	KPIについては、子育て世帯への経済的支援に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、医療費助成の現物給付方式の導入を積極的に進めていただきたい。	A						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H25)	19	20.4 %																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
19.7	50.0%	b																							
18	2 結婚・出産・子育ての希望を「かなえる」	(5)ワーク・ライフ・バランスの普及促進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>472</td> <td>2,100 人 (7年間)</td> </tr> <tr> <td>(H30)</td> <td>88.8</td> <td>94 %</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	472	2,100 人 (7年間)	(H30)	88.8	94 %	男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数 時間外勤務の削減に関する取組を実施している企業の割合 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,057</td> <td>98.0%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	2,057	98.0%	a	—	—		KPIの進捗については、「男女共同参画センターにおけるワーク・ライフ・バランスをテーマとした講演会・講座の受講者数」は十分に達成されている。なお、「時間外勤務の削減に関する取組を実施している企業の割合」は、アンケートの実施が見送られたところである。 (R元年度末改訂により、KPI「時間外勤務の削減に関する取組を実施している企業の割合」を追加) R2年度の取組状況としては、引き続き、男女共同参画情報誌を配布し、ワーク・ライフ・バランスの広報啓発を図ったほか、アドバイザー派遣により具体的な取組支援を行うとともに、労働局など関係機関と連携を図りながら、働きやすい職場づくりが望まれる事業所に対してもより効果的な取組となるよう、セミナー開催や先進的な取組事例の情報発信を行った。 また、これまで、別々に開催していた、女性活躍推進セミナーとイクボス推進会議を合同開催し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍推進の先進事例や他企業の取り組みに関する情報の共有を行ったほか、イクボス推進同盟加盟企業・団体数の増加に努め、H29年11月の同盟設立時から大幅に増加(設立時32→R2年度末81)するなど、取組の進捗が図られている。	引き続き、労働局等関係機関と連携を図りながら、ワーク・ライフ・バランスの推進について、男女共同参画情報誌や労政広報紙等による周知・啓発に努めていく。 また、引き続きイクボス推進同盟の参加企業・団体の増加に努めるとともに、他事業と連携した取組を進めるなど、取組内容の充実を図っていく。	KPIについては、ワーク・ライフ・バランスの普及促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症収束後も見据え、テレワークの導入など仕事と生活を両立しやすい環境の整備を推進するとともに、市民・企業への広報啓発を強化・継続していただきたい。 また、KPIのうち、「時間外勤務の削減に関する取組をしている企業の割合」については、継続して取得できる数値であるか再検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H26)	472	2,100 人 (7年間)																							
(H30)	88.8	94 %																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
2,057	98.0%	a																							
—	—																								

積極戦略3 まちの魅力を「みがく」

<概要> (1) 評価 (KPI) a : 十分に達成されている b : 概ね達成されている c : あまり達成されていない	(2) 検証会議の意見 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである
--	--

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
			まちの魅力を「みがく」の進捗等(令和2年度まで)	今後の方向性(考え方)															
まちの魅力を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 (2) まちなかのにぎわい創出	宿泊観光客数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 336</td> <td>380</td> <td>万人</td> <td>207.6</td> <td>-291.8%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26) 336	380	万人	207.6	-291.8%	c	数値目標「宿泊観光客数」については目標値を下回り、あまり達成されていないが、R元年は過去2番目に多い値となっており目標を達成していた。R2年は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅に減少したところである。 鹿児島オリジナルの魅力向上に向けた施策のうち、食の都づくりや花と緑の回遊空間づくり、潤いのある都市景観の形成については、十分に達成されている。 一方で、“鹿児島ファン”の拡大や集客力・回遊性の向上にかかるKPIについては、同感染症によるイベントの中止や外出自粛などの影響を受け、あまり達成されていない。		歴史、自然等を生かした観光の振興について、新型コロナウイルス感染症の収束後の新たなトレンドを踏まえつつ、個性豊かな資源の価値向上への取組をさらに進めるほか、集客力・回遊性の向上については、まちなかめぐりの仕掛けづくりを推進するなど、引き続き“誘客力の高さ”と“滞在満足度の高さ”を兼ね備えたまちの創造を目指し、まちの魅力を「みがく」取組を展開する。	数値目標については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、宿泊観光客数が大幅に減少したところであり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、当面は、市内・県内の需要の掘り起こしなど国内の観光客に注力した施策を実施するとともに、同感染症収束後も見据えた施策についても検討すべきである。	B
			基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)											
(H26) 336	380	万人	207.6	-291.8%	c														

No.	積極戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)															
19	3 まちの魅力を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ① 食の都づくり	民間主体の新たな食のイベント数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>6</td> <td>件 (7年間)</td> <td>6</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	-	6	件 (7年間)	6	100.0%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度の取組状況としては、食品関連事業者の育成支援について、新商品開発に対する補助金や商談会に関するセミナーの開催等により、新商品開発や販路開拓等が促進された。 また、民間団体等が実施する“食”のイベントについては、1事業が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になったものの、3事業については支援を行い“食の都”づくりや、まちなかのにぎわい創出を促進した。		新たに食品加工に取り組もうとする事業者へ情報提供を行うなど、食品関連事業者の育成支援については引き続き取り組み、新商品開発等を促進していく。 食のイベントの促進については、4事業に対し、引き続き支援を行うとともに、来場者属性の把握・分析について実施団体に働きかける。	KPIについては、食の都づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、同感染症収束後も見据え、オンラインの活用などイベント等の新たな実施形態について検討していただきたい。	A
				基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)											
-	6	件 (7年間)	6	100.0%	a															
20	3 まちの魅力を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ② 歴史、自然等を生かした観光の振興	入込観光客数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 950</td> <td>1,050</td> <td>万人</td> <td>511.4</td> <td>-438.6%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26) 950	1,050	万人	511.4	-438.6%	c	KPIの進捗については目標値を下回り、あまり達成されていないが、これは新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少したところである。 R2年度の取組状況としては、同感染症拡大の影響により、鹿児島マラソン2021の中止や、第75回国民体育大会・第20回全国障害者スポーツ大会の開催延期など本市観光に大きな影響が出ている中、鹿児島ユナイテッドFC等が行う本市観光PR活動等に対して支援を行い、スポーツを通じた観光交流が促進されたほか、平川動物公園の新型園内バスの運行や新コアラ館の供用開始、かしま水族館において、360度カメラを用いたVRによる映像の配信などを実施した。また、第2期グリーン・ツーリズム推進計画に基づき、グリーン・ツーリズムも着実に推進された。		スポーツの力やグリーンツーリズム等の活用により交流人口の拡大を図ることで、まちなかのにぎわいを維持し、地域経済の活性化につなげる。多様なツーリズムの台頭や新型コロナウイルス感染症の収束後の新たな旅行のトレンドを踏まえ、引き続き、本市のスポーツツーリズムやグリーン・ツーリズムの推進に取り組む。	KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少したところであり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、同感染症の収束が見通せない中、市内・県内の需要喚起やSNSによる魅力発信などに継続して取り組むとともに、同感染症収束後も見据え、他の自治体や民間事業者と連携しながら観光戦略について検討すべきである。	B
				基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)											
(H26) 950	1,050	万人	511.4	-438.6%	c															

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価													
				施策の進捗等（R2年度まで）	今後の方向性（考え方）															
21	3 まちの魅力を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ③花と緑の回遊空間づくり	都市公園の市民一人当たり面積	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H27)</td> <td>7.62</td> <td>7.94</td> <td>m</td> <td>7.92</td> <td>93.8%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H27)	7.62	7.94	m	7.92	93.8%	a	<p>KPIの進捗については、十分に達成されている。R2年度の取組状況としては、いずれの取組も概ね計画通りに進捗している。</p> <p>関係機関と連携を図りながら、計画的な事業進捗に努め、市民や観光客が四季を通じて「南国・鹿児島を感じる都市空間」の創出に取り組む。</p>	<p>KPIについては、花と緑の回遊空間づくりに向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、整備・開設後の市民の利用状況を把握し、施設の改善等に反映させるとともに、公園の魅力のさらなる発信に努めていただきたい。</p> <p>また、KPIについては、第2期総合戦略において、公園の利用者数、住民及び観光客のアンケート結果などを活用して施策を総合的に評価できる指標を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)															
(H27)	7.62	7.94	m	7.92	93.8%	a														
22	3 まちの魅力を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ④潤いのある都市景観の形成	景観形成に関する意見交換会等の延べ参加者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>200</td> <td>人 (2年間)</td> <td>95</td> <td>47.5%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	-	200	人 (2年間)	95	47.5%	a	<p>KPIの進捗については、十分に達成されている。(R元年度末改訂により、KPI「景観形成重点地区」を「景観形成に関する意見交換会等の延べ参加者数」へ入替)</p> <p>R2年度は、住民等との協働により「慈眼寺公園周辺地区」の景観計画を策定し、同計画の告示・縦覧を行うとともに、景観形成に対する市民意識の高揚を図ることを目的に景観アドバイザー派遣による勉強会や景観まちづくり市民教室を実施した。また、指定した地区へ補助金等の周知を図り、候補地においては住民等の景観への深い理解のもと、自らの基準づくりと継続的な景観まちづくり活動が望ましいことから、地元への働きかけ等においては、丁寧な説明を行うなど、概ね計画通り取り組んだ。</p> <p>引き続き、勉強会等により、景観形成に対する市民意識の高揚を図るとともに、市景観計画に位置付けられている候補地において地元との協議等を重ね、市民等との協働による取組を推進し、景観づくりに係る合意が図られた後は、景観形成重点地区の指定を目指す。</p> <p>また、指定した地区における支援(補助金等)について、現行の交付要件等の検討を行うとともに、関係部局との連携や効果的な情報発信を図るなどして、潤いのある都市景観の形成に努める。</p>	<p>KPIについては、潤いのある都市景観の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、オンラインによる勉強会等も継続しながら、景観形成に対する市民意識の高揚を図るとともに、優れた観光資源として国内外に効果的なPRを行っていただきたい。</p>	A	
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)															
-	200	人 (2年間)	95	47.5%	a															
23	3 まちの魅力を「みがく」	(1) 鹿児島オリジナルの魅力向上 ⑤“鹿児島ファン”の拡大	「友人・知人に鹿児島市を勧めたい」と思う市民の割合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H30)</td> <td>55.5</td> <td>60.5</td> <td>%</td> <td>53.0</td> <td>-50.0%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H30)	55.5	60.5	%	53.0	-50.0%	c	<p>KPIの進捗については、目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、R2年度の取組状況としては、概ね計画通りに進捗しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や外出自粛など、まちを推奨するきっかけとなる体験機会が減少したことによるものと考えている。</p> <p>シティプロモーション戦略ビジョンに基づく取り組みについて、庁内外との連携を強化し、より横断的に進めるとともに、策定からこれまでの経過や時勢等を踏まえ、ビジョンの改訂を行う。</p> <p>関係人口の創出とシビックプライドの醸成については、それぞれの取組を一体的に行い、本市ブランドメッセージの表す「市民と市外の人との交流」による“鹿児島ファンコミュニティ”の拡大を図る。また、シンボルマーク等の認知度向上と活用促進を図り、市民や企業等と連携したプロモーションを進める。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、体験機会が減少したことが要因と考えられ、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、幅広い年齢層に届く情報発信の工夫や、市民、特に若い世代が鹿児島市の良さを理解し、県内外の方への発信につながる取組を検討すべきである。</p> <p>また、KPIについては、第2期総合戦略において、施策の効果がより把握できる指標に見直すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)															
(H30)	55.5	60.5	%	53.0	-50.0%	c														

No.	積極戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等（R2年度まで）	今後の方向性（考え方）																				
24	3 まちの魅力 を「みがく」	(2) まちなかのにぎわい創出 ① 集客力・回遊性の向上	中心市街地の歩行者通行量 カゴシマシティビューの乗客数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>16</td> <td>17.1 万人</td> <td>12.4</td> <td>-327.3%</td> <td rowspan="2">C</td> </tr> <tr> <td>(H28)</td> <td>18.7</td> <td>20.6 万人</td> <td>8.9</td> <td>-515.8%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26)	16	17.1 万人	12.4	-327.3%	C	(H28)	18.7	20.6 万人	8.9	-515.8%	<p>KPIの進捗については、目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、ハード面における観光路線未整備の影響のほか、天文館ミリオネーションなどのソフト面での集客力向上や、かごりんによる回遊性向上の取組の効果が、中心市街地の日常的な歩行者通行量の増としては未だ現れていないと考えられる。また、R2年度の歩行者通行量は大幅に減少したが、これは新型コロナウイルス感染症の影響により来街者が減少したことによる影響と考えられる。</p> <p>(R元年度未改訂により、KPI「カゴシマシティビューの乗客数」を追加)</p> <p>路面電車観光路線については、基本計画策定委員会を開催し、ルート案等について協議し、4つのルート案を設定するなど事業の進捗が図られた。</p> <p>カゴシマシティビューの乗客数については、R2年度は同感染症の影響により観光客が減少し、一時的に運休や減便の対応をとったこと等から実績値が下がったものと考えられる。</p> <p>中心市街地で開催されるイベント支援に関しては、同感染症の影響を受け一部実施できなかった。一方、天文館ミリオネーションについては、H27年度からR2年度までで延べ約100万人の来場があり、冬期の滞在型観光の振興に寄与し、まちなかのにぎわい創出を図った。</p> <p>「かごりん」については、H27年3月の事業開始からR2年度末まで延べ956,889回の利用があり、まちなかの回遊性向上などに寄与した。</p>	<p>路面電車観光路線については、県の動向を踏まえながら基本計画の策定に取り組む。</p> <p>天文館ミリオネーションについては、天文館地区の飲食店や通り会などと連携したイベントの拡大に努めるなど、冬季イベントの風物詩として定着するよう取り組むとともに、中心市街地でのイベントの充実を図る。</p> <p>「かごりん」については、まちなかの回遊性向上への効果が期待されるため、市民や観光客等による利用促進につながるよう、引き続き、情報発信を行うなど、さらなる利便性の向上に努める。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症による来街者の減少やイベントの中止等が要因と考えられ、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、かごりんのさらなる利便性向上に取り組むとともに、同感染症収束後も見据え、イベントの実施方法の検討など集客の在り方や人の流れの在り方について検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																				
(H26)	16	17.1 万人	12.4	-327.3%	C																				
(H28)	18.7	20.6 万人	8.9	-515.8%																					
25	3 まちの魅力 を「みがく」	(2) まちなかのにぎわい創出 ② 新たな都市拠点の形成	JR鹿児島駅の乗降客数 「かんまちあ」で開催されるイベント数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H24)</td> <td>121.4</td> <td>122.5 万人以上</td> <td>98.7</td> <td>-2063.6%</td> <td rowspan="2">C</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>120</td> <td>件/年</td> <td>142</td> <td>118.3%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H24)	121.4	122.5 万人以上	98.7	-2063.6%	C	-	120	件/年	142	118.3%	<p>KPIの進捗については、「かんまちあ」で開催されるイベント数は目標値を達成したものの、JR鹿児島駅の乗降客数は、目標値を下回り、あまり達成されていない。JR鹿児島駅の乗降客数の減少は、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと考えられる。</p> <p>R2年度の取組状況としては、鹿児島駅周辺整備については、自由通路の供用を開始したほか、かんまちあでのイベント件数は同感染症の影響があったため減少しているが、目標値を達成するなど、順調に進捗している。</p> <p>また、本港区における集客力のある施設の整備促進については、県が、同感染症の影響により、事業者公募を延期するとともに、改めて、ランドデザインの開発コンセプトを踏まえながら施設の整備などの方向性を検討することとした。</p> <p>さらに、中央町19・20番街区、千日町1・4番街区の再開発事業については、概ねスケジュールどおりに進んでいる。</p>	<p>中央町19・20番街区に続き、千日町1・4番街区及び鹿児島駅前広場が完成することから、これらの施設を中心にさらなるにぎわいの創出と回遊性の向上を図り、中心市街地全体の活性化につなげていく。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、JRの乗降客数が減少したと考えられ、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、鹿児島駅周辺地区の駅前広場や自由通路の完成による人の流れの変化をフォローアップしながら、JRなどと連携し、鹿児島駅周辺地区のさらなる魅力向上に努めるべきである。</p> <p>また、KPI「JR鹿児島駅の乗降客数」については、第2期総合戦略において、市電やバスの乗降客数も含めた指標を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																				
(H24)	121.4	122.5 万人以上	98.7	-2063.6%	C																				
-	120	件/年	142	118.3%																					

適応戦略1 ひと・まちを多彩に「つなぐ」

<p><概要> (1) 評価 (KPI) a : 十分に達成されている b : 概ね達成されている c : あまり達成されていない</p>	<p>(2) 検証会議の意見 A : 引き続き、現状の取組を推進すべきである B : 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある C : 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
---	---

基本目標	主な施策	数値目標	数値目標及び主な施策やKPIの進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見													
			ひと・まちを多彩に「つなぐ」の進捗等(令和2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり (2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 (3)移住の促進 (4)都市間の交流・連携	国内外の交流都市数 <table border="1"> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> <tr> <td>(H27) 21</td> <td>26以上</td> <td>都市</td> <td>25</td> <td>96.2%</td> <td>a</td> </tr> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H27) 21	26以上	都市	25	96.2%	a	数値目標については、十分に達成されている。 都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成は十分達成されているとともに、ストックマネジメントの強化は概ね達成されており、人口減少等を見据えた持続可能なまちづくりが進められている。 市民一人ひとりが力を発揮し、互いに支え合う温もりのある地域社会の形成に向けた地域コミュニティの形成は十分に達成されているが、一方で、協働によるまちづくりにかかるKPIについては、あまり達成されていない。 また、移住希望者の多様なニーズに対応した支援による本市への移住促進や国内の都市との多様な交流・連携は十分に達成されているが、一方で、国際交流の推進にかかるKPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の一部が縮小・中止となったことからあまり達成されていない。		協働によるまちづくりについて、既存のNPOが休眠状態に陥らないよう、また、コロナ禍でも活動が継続できるよう必要な支援のあり方を検討していくほか、国際交流の推進については、新型コロナウイルス感染症収束後の交流に向けた継続的な協議や市民主体の国際交流活動の促進に向けた取組をさらに推進するとともに、引き続き、持続性と発展性を備えたまちを将来世代に引き継いでいくため、ひと・まちを多彩に「つなぐ」取組を展開する。	数値目標については、ひと・まちを多彩に「つなぐ」という基本目標に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、当面、リアルに「つなぐ」ことが困難な状況が続くと思われる中、オンラインによるメリットを活用しながら、同感染症収束後も見据え、活動の手法・在り方の見直しを検討するなど、今後とも工夫を重ね取組の推進に努めていただきたい。
			基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)										
(H27) 21	26以上	都市	25	96.2%	a													
評価	A																	

No.	適応戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)		
26	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ①都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成	「日常生活における生活利便施設が整備されている」と感じる市民の割合 公共交通不便地対策の実施地域数	KPIの進捗については、「公共交通不便地対策の実施地域数」は十分に達成されている。 立地適正化計画は、策定・見直しを行い、推進協議会等を開催して進捗管理を行った。 公共交通ビジョンは、H28年度に見直しを行い、毎年度、推進会議を開催して進捗管理を行ったほか、R2年度は第二次ビジョン策定に向け基礎調査を行った。 公共交通不便地対策は、H28年度に小原地域、小野・伊敷地域の2地域においてコミュニティバスの運行を開始したほか、H30年度に常盤地域、平川古屋敷地域の2地域において乗合タクシーの運行を開始した。 これらの取組により、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に資する取組の推進が図られた。		立地適正化計画では、推進協議会等を開催し、届出対応等による住宅建築や誘導施設の動向把握を行うとともに、概ね5年ごとに必要に応じて計画の見直しを行うこととされていることから、国の動向や国・県との協議等を踏まえ、見直しを検討する。 公共交通ビジョンでは、関係事業者等と一体となって、公共交通を軸とした交通体系を構築するため、推進会議を開催し、施策の進捗状況の把握や調整等を行い、同ビジョンの推進を図るとともに、第二次ビジョンの策定を行う。 また、公共交通不便地対策では、周知広報等に努め、改善を図りながら引き続きコミュニティバス・乗合タクシーの運行等を実施する。 KPI「公共交通不便地対策の実施地域数」については、現在対策を実施している地域で、対策を継続することを目標としている。	KPIについては、都市のコンパクト化と交通ネットワークの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、利用者等のニーズを把握した上で、コミュニティバスや乗合タクシーの利便性の向上を図るほか、公共交通の必要性などについて市民の理解が深まるよう、工夫した情報発信を行っていただきたい。
				評価	A		
27	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(1)人口減少等を見据えた持続可能なまちづくり ②ストックマネジメントの強化	公共施設配置適正化画に基づく事業完了施設数 危険空き家の解体への助成件数	KPIの進捗については、概ね達成されている。 (R元年度末改訂により、KPI「公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定・改定数」を「公共施設配置適正化計画に基づく事業完了施設数」へ入替) R2年度の取組状況としては、公共施設配置適正化計画に基づき、建替え等6施設の事業が完了したほか、空き家等対策、良質な住宅ストックともに、これまで充実させてきた施策に取り組んだ。また、良質な住宅ストックの形成を促進するため、計画に基づき既存市営住宅の建替、改善を実施した。 団地再生では、H29年度から団地再生推進庁内検討会を設置し、団地再生の手法や具体策を検討するとともに、地域住民等とのワークショップ等を行ってきたところであり、R2年度は、庁内検討会の開催や、策定する計画案案のパブリックコメント手続を実施するとともに、対象29団地の地域コミュニティ協議会等に説明を行い、活性化の基本的な考え方や取組方針などを取りまとめた「かごしま団地みらい創造プラン」を策定した。		公共施設等の計画的な更新・長寿命化については、財政負担の軽減・平準化を図るため、公共施設配置適正化計画に基づく事業を計画的に実施するとともに、空き家等対策の強化については、引き続き空き家等対策計画に基づき取り組む。 また、H29年度に見直した「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、建替や改善を実施するほか、民間住宅については、引き続き補助等の取組を進めることで、良質なストック形成の促進を図る。 団地再生の推進については、「かごしま団地みらい創造プラン」に基づき、庁内の連携を図るとともに、対象29団地における地域主体の取組の実現に向けて、意見交換会、実践セミナー、ワークショップの運営支援、職員や専門家による助言等の支援を行う。	KPIについては、ストックマネジメントの強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、危険空き家の解体においては、助成制度の周知をさらに進めるとともに、所有者不明や相続人不存在などへの対応について検討するほか、団地再生においては、若い世代を入れた団地再生ワークショップのさらなる充実を図っていただきたい。
				評価	A		

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)																				
28	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ①地域コミュニティの形成	地域コミュニティ協議会数 地域コミュニティプランに基づき活動する協議会数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>3</td> <td>団体</td> <td>79</td> <td>100.0%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H30)</td> <td>50</td> <td>団体</td> <td>78</td> <td>96.6%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26)	3	団体	79	100.0%	a	(H30)	50	団体	78	96.6%	<p>KPIの進捗については、十分に達成されている。 (R元年度末改訂により、KPI「地域コミュニティプランに基づき活動する協議会数」を追加) 地域コミュニティ協議会数は、R2年度に1団体の設立を行い、全79団体の設立が完了し、目標値を達成している。 協議会設立後は、地域コミュニティプランの策定を支援することにより、プランに基づき活動する協議会数も78団体となるなど順調に推移している。</p>	<p>幅広い団体・世代が連携・協力してまちづくりに取り組んでいくよう、協議会における地域コミュニティプランの策定、プランに基づく活動等を積極的に支援するとともに、地域活動の担い手の育成や課題解決に向け協議会相互の交流等による活動の活性化を検討する。</p>	<p>KPIについては、地域コミュニティの形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、参加住民の固定化や世代間の偏りが生じないよう、地域住民の参加意識の向上や参加しやすい組織づくりを進めるほか、地域コミュニティ間の交流も図っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																				
(H26)	3	団体	79	100.0%	a																				
(H30)	50	団体	78	96.6%																					
29	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(2)互いに支え合う温もりのある地域社会の形成 ②協働によるまちづくり	市内のNPO法人数 NPO等が行う活動への助成件数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>396</td> <td>団体</td> <td>368</td> <td>-82.4%</td> <td rowspan="2">c</td> </tr> <tr> <td>(H30)</td> <td>12</td> <td>件 (2年間)</td> <td>9</td> <td>37.5%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26)	396	団体	368	-82.4%	c	(H30)	12	件 (2年間)	9	37.5%	<p>KPIの進捗については、目標値を下回りあまり達成されていない。これは、R2年度は特にNPO法人数の減少幅が大きく、活動への助成件数も新型コロナウイルス感染症の影響で助成事業の中止が相次いだことによるものである。 (R元年度末改訂により、KPI「NPO等が行う活動への助成件数」を追加) 全国的にNPO法人数の増加は鈍化傾向(H28年度は約600法人、H29年度は約300法人の増加)となっていたが、H30年度には、H10年の特定非営利活動促進法の施行以来、初めて減少に転じ、R2年度も同様に減少している。 本市や県全体でも同様の傾向となっており、H29年度に減少に転じていたが、R2年度は9法人が設立、31法人が解散、2法人が市外転出し、対前年度24法人の大幅減となった。 R2年度の取組状況としては、引き続き、市民活動団体の活動に必要なノウハウの習得の支援や資金面での支援を行ったところであるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の団体で活動の中止、制限があったようである。</p>	<p>今後とも、市民活動団体の育成支援や多様な主体による連携促進を図るとともに、市民活動団体の情報を市としても積極的に発信していくなど、市民活動促進のための取組みを継続していく。 本市のNPO法人数については、人口1万人あたりの法人数と比較すると、人口規模が同程度の中核市と比べても突出して多く、市内の法人数がH25年度をピークに減少している状況からも飽和状態にあるのではないかと考えている。また、国の調査では、休眠状態のNPO法人は全体の約15%となっている。 今後は、これまでの検証会議の意見でもあったとおり、既存のNPOが休眠状態に陥らないよう、また、コロナ禍でも活動が継続できるよう必要な支援のあり方を検討していく必要がある。</p>	<p>KPIについては、NPO法人数の大幅な減少や新型コロナウイルス感染症の影響で助成事業の中止が相次いだことにより、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある。 なお、施策の推進にあたっては、解散や休眠状態の原因を把握・分析し、必要な対応策を実施するほか、同感染症の影響を踏まえた適切な支援やNPOの相互連携を促すなど積極的な取組を検討すべきである。 また、KPIについては、NPO法人数の飽和状況を分析する中で、第2期総合戦略において、活動状況の測定など施策の効果をより把握できる指標を検討すべきである。</p>	B
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																				
(H26)	396	団体	368	-82.4%	c																				
(H30)	12	件 (2年間)	9	37.5%																					
30	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(3)移住の促進	移住セミナー等における延べ面談件数 本市の関連施策を通じた移住者数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H30)</td> <td>97</td> <td>件/年</td> <td>79</td> <td>60.8%</td> <td rowspan="2">a</td> </tr> <tr> <td>(H28)</td> <td>17</td> <td>人/年</td> <td>121</td> <td>242.0%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H30)	97	件/年	79	60.8%	a	(H28)	17	人/年	121	242.0%	<p>KPIの進捗については、十分に達成されている。 (R元年度末改訂により、KPI「本市への移住相談件数」を「移住セミナー等における延べ面談件数」へ入替) R2年度の取組状況としては、新たに、新型コロナウイルス感染症の影響による「新しい生活様式」等への対応を図るため、オンライン相談やJUJ倶楽部会員特典サービス制度、移住奨励金を実施するとともに、引き続き、ポータルサイト等を活用して、本市の魅力や生活環境の効果的な情報発信を行ったほか、移住支援コーディネーターによる、移住希望者のニーズに合わせた情報提供や相談対応、移住後のフォローアップ等の支援を行うなど、相談体制の充実を図り、本市への移住促進に向けた取組を推進した。</p>	<p>R3年度は、引き続き、オンライン相談やJUJ倶楽部会員特典サービス制度、移住奨励金を実施するとともに、ポータルサイト等を活用した本市の魅力や生活環境の効果的な情報発信に取り組むほか、移住支援コーディネーターによる相談対応や移住関連イベントへの参加などにより相談・フォローアップ体制の充実を図り、幅広い世代の本市への円滑な移住を促進する。</p>	<p>KPIについては、移住の促進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響による地方への移住の関心の高まりや新たな働き方など、国民の意識・行動の変化を踏まえながら、引き続き、移住希望者のニーズの把握と移住後のフォローアップ体制の充実を図っていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																				
(H30)	97	件/年	79	60.8%	a																				
(H28)	17	人/年	121	242.0%																					

No.	適応戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
31	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4) 都市間の交流・連携 ① 国際交流の推進 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 11,523</td> <td>13,200</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 11,523	13,200	人	国際交流事業への参加者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,521</td> <td>-596.4%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	1,521	-596.4%	c	KPIの進捗については、目標値を下回り、あまり達成されていない。これは、多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止または縮小されたことによるものである。 R2年度には、本市の国際交流の拠点施設として国際交流センターを供用開始し、指定管理者の市国際交流財団と連携しながら、各種事業やイベントの開催により市民主体の幅広い国際交流活動の促進に取り組んだ。 往來を伴う交流が難しい状況であるが、市電姉妹友好都市号のリニューアル等を通じたPRやオンラインによる現地との交流のほか、長沙市とのマスク等医療物資の相互支援など同感染症の影響下においても可能な取組を行った。	姉妹友好都市等との交流については、新型コロナウイルス感染症の影響下においてもオンライン等を活用した交流を引き続き行うとともに、同感染症収束後の交流についても継続的に協議を行う。 また、R2年度から供用開始した国際交流センターを拠点として、各種事業やイベントを通じた市民と在住外国人との交流機会の充実など、市民主体の国際交流活動の促進に向けた取組をさらに推進する。 さらに、本市における“アジアの日常化”に向け、未来を担う子ども・若者をターゲットの一つとし、多文化共生の推進も主な取組として盛り込んだアジア戦略を官民連携して推進する。	KPIについては、多くの事業が新型コロナウイルス感染症の影響を受け、中止または縮小されたことにより、あまり達成されていない。取組の方向性は妥当であることから、引き続き、同感染症の状況を踏まえながら、取組の推進を図るべきである。 なお、施策の推進にあたっては、国際的な人の往來に制限がある間は、現状の取組を推進する一方、同感染症収束後も見据え、オンライン・オフラインそれぞれの利点を生かした交流の在り方を検討していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26) 11,523	13,200	人																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
1,521	-596.4%	c																	
32	4 ひと・まちを多彩に「つなぐ」	(4) 都市間の交流・連携 ② 国内の都市との多様な交流・連携 <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26) 19</td> <td>25</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26) 19	25	件	都市間連携に係る実施事業数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>25</td> <td>100.0%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	25	100.0%	a	KPIの進捗については、十分に達成されている。 R2年度までに、交流協定都市との周年事業やクリエイティブ産業振興の取組など新たな連携事業を実施してきた。 R2年度は市政広報紙での各市の観光スポット紹介、松本市及び札幌市との職員の人事交流、松本市のサッカーチームのキャンプ受入などを行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響で渋谷区で行っているクリエイティブ産業振興のイベントをオンライン開催としたほか、各都市イベントへの相互参加や、他都市と連携した観光プロモーション等は中止となった。	各都市と本市の個性や共通点を把握したうえで、新たな連携事業の創出を引き続き検討するとともに、連携の効果が市民に伝わるよう機会を捉えた周知広報に努め、新型コロナウイルス感染症の収束後にに向けた取組を行う。 また、官民の連携した取組についても観光や産業、環境の分野などにおいて、引き続き検討を行う。	KPIについては、国内の都市との多様な交流・連携に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、引き続き、官民連携した取組を推進するとともに、連携した取組が市民に見えるよう工夫していただきたい。	A
基準値	目標値 (R3)	単位																	
(H26) 19	25	件																	
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																	
25	100.0%	a																	

重点戦略

<p><概要></p> <p>(1) 評価 (KPI)</p> <p>a: 十分に達成されている b: 概ね達成されている c: あまり達成されていない</p>	<p>(2) 検証会議の意見</p> <p>A: 引き続き、現状の取組を推進すべきである B: 全般的には推進すべきだが、取組の一部を改善する必要がある C: 取組の大幅な見直しや新たな取組の追加を検討すべきである</p>
--	---

No.	重点戦略	主な施策及び主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価																		
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性 (考え方)																				
33	1 世界基準の観光地域づくり	<p>(1) 世界に誇りうる地域資源の活用、(2) 外国人観光客の誘致・受入体制の整備</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>12</td> <td>万人</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	12	万人	<p>外国人宿泊観光客数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6.5</td> <td>-30.6%</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	6.5	-30.6%	c	<p>KPIの進捗については、目標値を下回り、あまり達成されていないが、これは新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少したところである。</p> <p>R2年度の世界に誇りうる地域資源の活用における取組状況としては、世界文化遺産については、世界文化遺産登録5周年を記念するイベント等の実施など、情報発信、理解増進を図った。また、磯新駅については、事業主体となる磯新駅設置協議会が設立され、同協議会とJR九州との間で新駅設置に関する覚書が交換された。さらに、ジオパークについては、世界ジオパーク認定に向けて進めてきたエリア拡大が認定された。</p> <p>外国人観光客の誘致・受入体制の整備においては、同感染症の影響を受け、海外への直接的なプロモーションを行うことはできなかったものの、鹿児島観光コンベンション協会においては、DMO戦略プランに基づく取組について海外向けの事業を国内向けに振替えるなどして実施した。また、外国人観光客の満足度を高めるため、民間事業者を支援し、受入体制の充実を図った。</p>	<p>世界文化遺産とジオパークの相互連携による一体的な情報発信や活用など、効果的な事業の推進を図るとともに、戦略的なプロモーションを引き続き実施していく。</p> <p>施策の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症収束後に向けて、外国人観光客のニーズや属性等の情報収集・分析、衛生対策の強化などの受入体制の充実、関係機関と連携した誘致プロモーションなどにより、国内外からの観光客の回復に取り組む。</p>	<p>KPIについては、新型コロナウイルス感染症の影響を受け大幅に減少したところであり、あまり達成されていない。全般的には推進すべきだが、同感染症の状況を踏まえ、取組の一部を改善する必要がある。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、外国人観光客のニーズや属性等の情報収集・分析に努め、受入体制の充実や県内の世界自然遺産などと連携した誘客等に取り組むなど、同感染症収束後の観光トレンド等も見据えた施策を検討・充実させるべきである。</p>	B						
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H26)	12	万人																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
6.5	-30.6%	c																							
34	2 健“高”医“良”都市の創造	<p>(1) 健康と生きがいを実感できる市民生活の提供</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>8</td> <td>事業者 (7年間)</td> </tr> <tr> <td>(H26)</td> <td>51.7</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	8	事業者 (7年間)	(H26)	51.7	%	<p>新たなヘルスケアビジネスの展開に取り組む事業者数</p> <p>介護保険サービスの総給付費に占める在宅サービス費の割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>68</td> <td>101.5%</td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>55.4</td> <td>86.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	68	101.5%	a	55.4	86.0%		<p>KPIの進捗については、十分に達成されている。</p> <p>R2年度の取組状況としては、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出の促進をはじめ、「生涯活躍のまち」を形成する事業主体の支援や高齢者の相談・支援体制の構築、生活援助を行うボランティア団体や地域で介護予防活動を展開する団体の支援等を行った。</p> <p>市立病院では地域医療支援病院として、他の医療機関との連携や地域で必要な医療を確保するための医療機関相互の機能分化を推進した。</p>	<p>引き続き、健康寿命延伸や地域包括ケアシステムの構築に資するヘルスケアビジネス創出を図るため、関係機関と連携しながら、ビジネスアイデアの創出とその事業化支援に取り組む。</p> <p>「生涯活躍のまち」形成に向け、引き続き、喜入地域における事業主体の取組を支援し、自走化・自立化を促進する。</p> <p>地域包括ケアの中核的役割を担う地域包括支援センターの機能を強化するなど、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスの一体的な提供体制の充実・強化を図るとともに、「よかよか元氣クラブ」の活動に対し、県補助金を活用したポイントの付与を行うなど地域での通いの場の増加や継続的な活動の支援を行う。</p> <p>市立病院では地域医療支援病院として、地域の医療機関との医療連携や相互の機能分化を推進するため、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら医療機関への訪問等の取組を充実していく。</p>	<p>KPIについては、健康と生きがいを実感できる市民生活の提供に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、引き続き、健康寿命を延ばす取組を推進するほか、「生涯活躍のまち」形成に取り組む事業主体を支援していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H26)	8	事業者 (7年間)																							
(H26)	51.7	%																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
68	101.5%	a																							
55.4	86.0%																								
35	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	<p>(1) 大学との連携強化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>61.7</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>51</td> <td>件 (5年間)</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	(H26)	61.7	%	—	51	件 (5年間)	<p>市内大学生の県内就職率</p> <p>市内6大学との新規連携事業・取組数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>61.5</td> <td>-2.5%</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>63</td> <td>123.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	61.5	-2.5%	b	63	123.5%		<p>KPIの進捗については、概ね達成されている。</p> <p>なお、「市内大学生の県内就職率」については、社会経済情勢や雇用環境など諸要因もあり、基準値を下回っているが、R2年度は、R元年度に比べ5%の増となった。</p> <p>R2年度は、「まちづくり」未来の担い手「育成事業」として、市内大学生を対象に課題解決型インターンシップを実施したほか、第6次総合計画策定に向けた若者会議や都市マスタープラン策定に向けたワークショップへの学生の参画などを通して、学生の発想をまちづくりに生かすとともに、地元で活躍できる人材育成につなげることができた。</p> <p>また、各大学とのその他の連携事業・取組については、新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントに関連するものなど一部中止となったものもあったが、新たな取組も始まるなど、充実が図られた。</p>	<p>R3年度は、SDGsの普及・啓発をテーマとした課題解決型インターンシップを実施するとともに、各大学におけるまちづくりに関する講義の実施など、学生のまちづくりへの関心を高める取組を進めるほか、さまざまな分野において、各大学との連携事業・取組をさらに充実・深化させる。</p>	<p>KPIについては、大学との連携強化に向けて、概ね達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。</p> <p>なお、施策の推進にあたっては、同感染症の拡大による地方回帰の流れが県内就職率にどのように寄与したのかという分析や同感染症の影響を踏まえた効果的な事業の実施方法について検討の上、各大学と協働しながら鹿児島への興味・関心を喚起する取組や地元で活躍できる人材の育成を進めていただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位																							
(H26)	61.7	%																							
—	51	件 (5年間)																							
実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)																							
61.5	-2.5%	b																							
63	123.5%																								

No.	重点戦略	主な施策及び 主な取組	重要業績評価指標 (KPI)	KPIや具体的取組の進捗を踏まえた施策全体の評価		検証会議の意見	評価												
				施策の進捗等 (R2年度まで)	今後の方向性(考え方)														
36	3 大学との連携強化とふるさと教育の推進	(2) ふるさと教育の推進	郷土教育に係る体験活動の実施率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(H26)</td> <td>90.6</td> <td>100 %</td> <td>99.1</td> <td>89.4%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	(H26)	90.6	100 %	99.1	89.4%	a	<p>KPIの進捗については、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、実施回数や実施期間を縮小して実施したものもあったが、各学校で工夫しながら体験活動に取り組むことにより、十分に達成されている。「かごしま創志塾」「ジュニア創志塾」では、郷土教育に係る学習の充実や塾生同士が郷土に対する愛着心や誇りを持ち、互いを高めあうためのネットワーク作りに努めた。</p> <p>ふるさと教育の推進について、それぞれの主な取組の内容の充実に努めながら、引き続き進めていく。 郷土教材の活用については、学校が目指している「社会に開かれた教育課程」を編成するために、学校評議員会または学校運営協議会とも連携を図りながら、地域人材を活用した教材づくりに努めたい。 「かごしま創志塾」「ジュニア創志塾」については、魅力あるプログラムを提供するとともに、卒業生の活躍の場の充実を図る。また、ホームページ等での情報発信や塾生同士のネットワーク体制の構築にも努める。</p>	<p>KPIについては、ふるさと教育の推進に向けて、十分に達成されている。引き続き、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、「かごしま創志塾」の卒業生のフォローアップを継続し、ネットワークの形成に努めるとともに、各界で活躍する郷土出身者や「かごしま検定」を実施する鹿児島商工会議所と連携した取組も検討していただきたい。 また、KPIについては、第2期総合戦略において、実施件数や参加者数に係る指標設定を検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)														
(H26)	90.6	100 %	99.1	89.4%	a														
37	4 連携中核都市圏の形成	(1) かごしま連携中核都市圏ビジョンの推進	連携事業数	<table border="1"> <thead> <tr> <th>基準値</th> <th>目標値 (R3)</th> <th>単位</th> <th>実績値 (R2)</th> <th>対目標値</th> <th>評価 (R2)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>27</td> <td>事業 (7年間)</td> <td>30</td> <td>111.1%</td> <td>a</td> </tr> </tbody> </table>	基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)	—	27	事業 (7年間)	30	111.1%	a	<p>KPIの進捗については、目標値を上回り、十分に達成されている。また、具体的な取組の進捗としては、4市の幹事会やビジョン懇談会、市長会議を開催し、かごしま連携中核都市圏ビジョンの適切な進行管理を図った。</p> <p>引き続き、連携事業の効果的な実施に取り組むとともに、新たな連携事業の実施に向けて積極的に検討・協議を行うなど、連携中核都市圏の着実な推進を図る。</p>	<p>KPIについては、連携中核都市圏の形成に向けて、十分に達成されている。引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、現状の取組を推進すべきである。 なお、施策の推進にあたっては、連携中核都市である本市の役割を明確にした上で、市民の利便性の向上につながる事業や連携による効果が高い事業を着実に実施していただきたい。 また、KPIについては、目標値を達成していることから、第2期総合戦略において、見直しを検討していただきたい。</p>	A
基準値	目標値 (R3)	単位	実績値 (R2)	対目標値	評価 (R2)														
—	27	事業 (7年間)	30	111.1%	a														